

第2回学校運営協議会 議事録

校名	府立信太高等学校
校長名	藤原 和子

開催日時	令和6年11月15日（金） 14：00～15：30
開催場所	府立信太高等学校 1階 校長室
出席者（委員）	安原会長、神代委員、堀古委員、坂井委員、大池委員、佐野委員
出席者（学校）	藤原校長、上村教頭、杉野事務長、依田首席、吉松首席
傍聴者	0名
協議資料	授業アンケート報告 40期生進路状況 令和7年度使用教科書選定理由書一覧表 学校教育自己診断について
備考	

議題等（次第順）

・時程説明

- ①授業見学 2-3（川戸教諭_数学A）、3-4（井原教諭_国語教養）、
スポーツ科学コース（各該当種目担当教諭_トレーニング科学Ⅱ）、共生推進教室（中原教諭_共生ライフ）
- ②令和6年度学校経営計画進捗状況について ③令和6年度授業アンケート報告
- ④40期生進路状況について ⑤令和7年度使用教科書選定理由書一覧表について
- ⑥学校教育自己診断について ⑦意見交換

協議内容・承認事項等（意見の概要）

【報告・議案】 令和6年度学校経営計画及び令和5年度学校評価について

- ・令和6年度学校経営計画について、現在、教職員の研修テーマに「ポジティブ行動支援」を掲げ、職員研修を重ねていることの経過を説明。
- ・1学期末に実施した授業アンケートの結果について、経年変化とともに分析報告。特に授業計画や教材活用の数値が上昇しているが、他の項目でも前回数値より上昇が見られることから、昨年度に導入した電子黒板型プロジェクトの導入により、授業者による授業展開の工夫がなされ、1人1台タブレットの活用も含めて、今回の数値上昇に繋がったと思われることを説明。
- ・40期生の進路状況では、総合型選抜で4年生大学を受検する生徒が増えていることを説明。また、就職では、前年度より求人数が増えていることを説明。
- ・学校教育自己診断アンケートの項目について説明。生徒用アンケート項目で、「本校は国際交流やボランティア活動が盛んである」について、コロナ禍以降は国際交流事業が滞っているため、「国際交流」を「地域貢献」に変更したことを説明。その他は経年変化を分析するため、概ね前年度の文言を踏襲していることを説明。

【意見交換】

- （意見）昨年度、授業見学した際に、生徒たちは冷めた印象を受けたが、今日は皆で話し合いながら問題に取り組んでいる光景があり、とても良かった。社会に飛び立つ前の明るく元気な雰囲気を強く感じた。
- ←（意見）中学校に広報を兼ねて近況報告として1年生が行った様だが、2・3年生も近況報告しても良いのではと思った。
- ←（意見）授業では生徒たちが明るく元気だった。数学では、1人で佇んでいる様な生徒がいなかった。みんなで意見を言い合っていた。学校での研修主題でもある、「ポジティブ行動支援」が影響を与えてるのではないか。学習者がみんなで認め合って学習に取り組んでいることを感じた。
- ←（意見）共生推進教室以外でも学習支援が必要な生徒はいるので個別のサポートを役立てて欲しい。
- ←（意見）「なごみカフェ」では、SC、SSWなど教室以外の専門的な領域からのアプローチも有意義だと思われるので、ぜひ取り組んで欲しい。
- ←（意見）授業を見学して、生徒との信頼関係が構築されていると感じた。生徒会や文化祭の目標を生徒たちが主体的に立てている。生徒たちが自発的に学校行事について考える機会を作っていると感じた。
- ←（意見）子供に寄り添う感じがした。生徒たちに、ポジティブ行動支援が浸透しているのでは、と思った。

日時	第3回：令和7年 1月 31日（金）14：00～（予定）
会場	府立信太高等学校 1階 校長室